

イゴール・レヴィット

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ・サイクル・イン・ジャパンⅢ &Ⅳ

Igor Levit

Beethoven Piano Sonatas Cycle in Japan - III & IV

2023年

11月24日 [金] 19時開演
24 November 2023 | 19:00

25日 [土] 14時開演
25 November 2023 | 14:00

紀尾井ホール

特別に2年間全4公演で組まれたレヴィットのベートーヴェン・サイクル。初期と中期の作品で聴衆を圧倒した22年に続き、プロジェクトの後半となる「Ⅲ&Ⅳ」では、《悲愴》《月光》などの人気作品や、最後の3つのソナタで作曲家の深奥に迫ります。

[チケット料金] 全席指定

S席9,500円 A席7,500円  A席3,000円


2日間セット券(S席) 18,000円 [セット券販売は9月30日(土)まで]

当日会場価格は各券種+500円となります [各種割引の対象外]

[発売日]

ジャパン・アーツぴあ オンラインチケット会員 先行発売 4月29日 [土・祝] 10:00
一般発売 5月12日 [金] 正午

※料金は税込みです。本紙掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。チケット取扱い箇所(プレイガイド)毎に販売枠を分けております。

※  は公演当日に29歳以下の方を対象とする優待料金です。取扱いは紀尾井ホールウェブチケットのみで、枚数には制限があります。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトをご覧ください。

無料招待席 紀尾井みらいシート

小学生から高校生まで(公演日基準)を保護者とペアでご招待。詳しくは裏面をご覧ください。

[チケット取り扱い]

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/webticket>
ジャパン・アーツぴあ <https://japanarts.pia.jp>

0570-00-1212 (10時~16時/火曜定休)

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード 239-687]

イープラス <https://eplus.jp>



第1日 24日 [金] **ベートーヴェン・サイクル Ⅲ**

ピアノ・ソナタ Piano Sonatas Cycle III: 24 November 2023, Friday

第17番ニ短調 op.31-2 《テンペスト》 No. 17 in D minor op. 31-2 "Tempest"

第8番ハ短調 op.13 《悲愴》 No. 8 in C minor op. 13 "Pathétique"

第9番ホ長調 op.14-1 No. 9 in E major op. 14-1

第10番ト長調 op.14-2 No. 10 in G major op. 14-2

第14番嬰ハ短調 《幻想曲風ソナタ》 op.27-2 《月光》

No. 14 in C-sharp minor "Quasi una fantasia" op. 27-2 "Moonlight"

第2日 25日 [土] **ベートーヴェン・サイクル Ⅳ**

Cycle IV: 25 November 2023, Saturday

ピアノ・ソナタ The Last Three Sonatas

第30番ホ長調 op.109 No. 30 in E major op. 109

第31番変イ長調 op.110 No. 31 in A-flat major op. 110

第32番ハ短調 op.111 No. 32 in C minor op. 111

[共催] ジャパン・アーツ、公益財団法人 日本製鉄文化財団

イゴール・レヴィット (ピアノ) Igor Levit, piano

俊敏で批判的な精神を持つレヴィットは、自らの芸術を社会的な出来事と関連したものとして捉え、それらとは切っても切れない関係にあるものと理解している。ニューヨーク・タイムズ紙は、彼を「同世代で最も重要なアーティスト」のひとりと呼んでいる。レヴィットはミュージカル・アメリカ誌の「レコーディング・アーティスト・オブ・ザ・イヤー2020」、そして2018ギルモア・アーティスト賞に選出され、2020年11月には、グラミー賞の「ベスト・クラシカル・インストゥルメンタル・ソロ」部門にノミネートされた。

リサイタルでは、世界の著名なコンサート・ホールや音楽祭で定期的に演奏している。ソリストとしても、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、クリエラント管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ロイヤル・コンサート・ボウ管弦楽団、そしてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など世界の主要なオーケストラと定期的に共演している。2021年春には、レヴィットとルツェルン音楽祭が、2023年より開始されるレヴィットがキュレーションを務める新しいピアノの音楽祭に向けての複数年にわたるコラボレーションを発表。2022年には、ウィリアム・ボルクムによるピアノ協奏曲を世界初演、さらにレヴィットのためにジャズ・ピアニストのフレッド・ハーシュが作曲したソロ作品の世界初演も行った。

ソニー・クラシカルの専属レコーディング・アーティストとして、2019年に、高い評価を得た同レーベルからのデビュー盤、ベートーヴェンの全32曲のソナタ集、グラモフォンの「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」と、オーパス・クラシック賞を2020年秋に受賞。2020年9月には次作の『エンカウンター(出会い)』を発売したが、コロナ禍におけるロックダウン中の2020年春に録音された本作は、人間の「出会い」や連帯感への欲求を深く掘り下げた個人的な内容のアルバムとなっている。フェルッチョ・ブゾーニとマックス・レーガーによる、バッハとブラームスの演奏機会の少ない編曲版のほか、モートン・フェルドマンの最後のピアノ作品《Palais de Mari(マリの宮殿)》が収録されている。レヴィットの次回作は、ショスタコーヴィチの《24の前奏曲とフーガop.87》と、ロナルド・ステーヴンソンの《DSCHによるパッサカリア》を収録した3枚組。同ア

ルバムのアートワークは、ニューヨーカー誌やニューヨーク・タイムズ紙などで定期的にイラストを提供している世界的に著名なアーティストでグラフィック・デザイナーのクリストフ・ニーマンが特別に制作したものだ。

ニジニー・ノヴゴロド生まれのレヴィットは、8歳のときに家族と共にドイツに移住。ハノーファーの音楽大学でピアノを学び、同校の歴史上、最高の成績を収めて修了した。師事した恩師にはカール＝ハインツ＝ケマーリング、マッティ＝ラエカッリオ、ベルント＝ゲーツェ、ラオス＝ロヴァトカイ、ハンス＝ライグラフがいる。レヴィットは、2005年のテル・アヴィヴで行われたアルトゥール＝ルービンシュタイン・コンクールに最年少で出場し、銀メダル及び最優秀室内楽演奏賞、観客賞、最優秀現代音楽演奏賞を獲得した。2019年春には、母校であるハノーファー音楽演劇メディア大学の教授に就任した。

2019年には政治的な貢献で第5回国際ベートーヴェン賞を授与された。続いて2020年1月には、アウシュヴィッツ解放75周年にあたり、国際アウシュヴィッツ委員会より「Statue B賞」を授与された。2020年春のロックダウン中にTwitterのライブ・ストリーミングで、自宅より配信した53のライブ演奏により、世界中の聴衆を獲得し、孤立と絶望の時代に、連帯感や希望を届けた。2020年10月、レヴィットはドイツ連邦共和国の功労勲章を授与された。2021年春には、ハンザ社よりレヴィットの初の書籍で、フロリアン・ツィネッカーとの共著による『House Concert』が出版された。居住地のベルリンでは、「サドラーズ・ウェルズ・インディペンデント・オペラ」管財人団の厚意により与えられたスタインウェイDグランド・ピアノを使用している。

イゴール・レヴィットはソニー・クラシカルの専属レコーディング・アーティストである。Exclusive Worldwide Management: Kristin Schuster, Classic Concerts Management GmbH

無料で招待席

紀尾井みらいシート

紀尾井ホール・日本製鉄文化財団では若い世代の方に生演奏の感動を体験いただくための「紀尾井みらいシート」を設けています。小学生から高校生の皆さんを対象に主催公演にご招待します。



対象：小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者(※)
※小学生は保護者同伴必須、中学生は保護者の承諾で本人単独での応募・来場可。

ご招待席数：ご招待席数：10席

募集期間：5月12日(金)正午～10月24日(火)正午

当選通知：締切後1週間以内をめどにお知らせします。

応募方法：以下のURLを直接入力いただくか、右QRコードからお進みください。

<https://kioihall.jp/kioimiraiseat>

※応募多数の場合は抽選となります。

次のことを予めご承知の上、チケットをお求め下さい。

- ※やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更となる場合がございます。
 - ※いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
 - ※演奏中は入場できません。
 - ※未就学児の同伴・ご入場はご遠慮下さい。小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いいたします。
 - ※就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
 - ※全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
 - ※場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
 - ※ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
 - ※他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
 - ※車いす席ご希望の方は必ず事前にご予約ください(紀尾井ホールウェブチケット、ジャパン・アーツびあこホールセンターのみで受付)。
 - ※不測の事態で公演中止となる可能性がございます。その場合はウェブサイトにてお知らせいたします。公演中止の場合に限り、チケットご購入者に券面表示金額にて払戻いたします。
- ※会場内では新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。

日本製鉄文化財団 紀尾井ホールでは、皆さまからのご支援をお待ちしております。

<紀尾井サポートシステム(寄附会員制度)>はこちら⇒



紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員

(五十音順「株式会社」等表記及び敬称略)

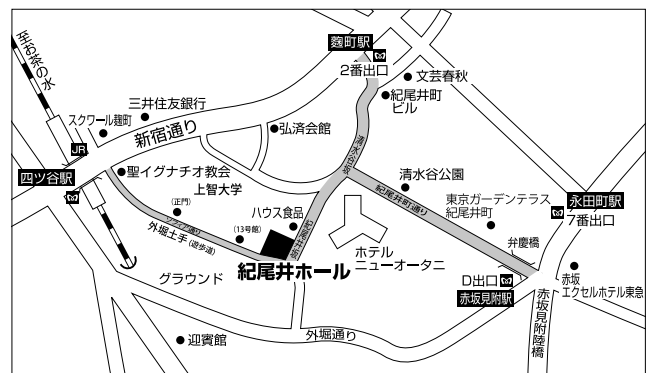
《特別協賛会員》日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所

《みやび会員》伊藤忠商事/大島造船所/商船三井/菅原/住友商事/日本郵船/丸紅/三井住友銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほか匿名2社

《ひびき会員》オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらばしフィナンシャルグループ/山下設計

《みどり会員》青鬼運送/赤坂維新號/今治造船/ヴォートル/エーケーディ/NTTドコモ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピタルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武リアルティソリューションズ/大成建設/千代田商事/テイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージジョン/明治舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21

《あおい会員》青木陽介/浅見 恵/石崎智代/磯部治生/伊藤眞理子/井上善雄/岩城宏斗司/上野真志/馬屋原貴行/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/小川 保/小倉 ヒロ・ミハエル/小樽茂穂/糟谷敏秀/片山國正/片山能輔/加藤善恵/加藤優一/神川典久/川口祥代/川島知恵/菊池恒雄/木谷 昭/楠野貞夫/栗山信子/河野紗妃/小坂部恵子/小西美由紀/斎藤公善/坂詰貴司/佐久間庸行/佐部いく子/潮崎通康/清水 正/清水多美子/清水康子/白土英明/鈴木順一/鈴木 亮/高下謙吾/武上由佳/田中 進/戸田純也/外山雄三/鳥居荘太/内藤美奈子/内藤基之/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中山昌樹/名取正夫/西村利美/原田清朗/日原洋文/冬木寛義/北條哲也/堀川将史/牧本美恵子/松枝 力/松本美恵/丸井正樹/養輪永世/宮島正次/宮田寛子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/村上敬子/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿美/横手 聡/渡邊一夫/渡辺弘次/渡辺由香里 ほか匿名45名 計243口



〔最寄駅〕●四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線)麴町口ほか 徒歩6分 ●麴町駅2番出口(有楽町線)徒歩8分 ●赤坂見附駅D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分 ●永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線)徒歩8分

紀尾井ホール 公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代)

紀尾井ホール ホームページ <https://kioihall.jp>